

ID ^{注1)}	211210	公開レベル ^{注1)}		保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	令和2年度 白神山地周辺地域（青森県側）における冬期ニホンジカ分布調査	発行年月/報告年月	
		2021年	4月
		資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター	委託機関	
------	-------------------------	------	--

調査開始年	2020年 11月	調査期間	2020年 11月 ~ 2021年 3月
-------	-----------	------	----------------------

調査頻度 ^{注2)}	毎年	調査時期 ^{注2)}	秋 冬
---------------------	----	---------------------	-----

モニタリング計画	2017年3月 改訂	区分 ^{注2)}	II B 大区分 ^{注2)} 2 小区分 ^{注2)} (3)
----------	------------	-------------------	--

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域
 緩衝地域
 周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的
白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査項目に挙げられているニホンジカの生息域を把握するため、白神山地周辺の越冬場所と考えられる低標高地域において、晩秋から早春にかけて赤外線センサーカメラによる調査を実施した。

■センサーカメラ設置箇所
白神山地周辺地域の西側に位置する深浦町の国有林内に、各箇所1台ずつ合計17台を設置した（図1）。令和2年11月25日に調査を終了した「令和2年度白神山地周辺地域（青森県側）における中・大型哺乳類調査」の調査地点1～12、14、31及び32のカメラを、ニホンジカ調査用に冬期間も継続して設置し、更に過去にニホンジカのものと思われる痕跡が発見された地点に、追加で計2台設置した。

■調査期間
令和2年11月25日～令和3年4月5日

■使用機器

- TREL10J（株）GI Supply）：11台（図1：地点1、3～11、14）
- TREL10J-D（株）GI Supply）：4台（図1：地点2、12、31、32）
- TREL18J-D（株）GI Supply）：2台（図1：地点33、34）

■集計方法
撮影されたニホンジカの性別及び個体数を記録したほか、その他に撮影された哺乳類・鳥類についても調査地点ごとにカウントして集計した。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

調査期間中、ニホンジカは6箇所から計21頭撮影され、性別は全てオスであった。なお、これまでは夏期を含めて同時に複数頭が撮影された事例はなかったが、2頭及び3頭での撮影が各1回あった。ニホンジカ同様に分布拡大が懸念される種として、ハクビシンが7箇所から計29頭撮影され、また、同じく分布の北上傾向が見られるイノシシが、調査地7と31から1頭ずつ撮影された。

ニホンジカも含め撮影された全ての動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計588個体、そのうち哺乳類は560個体であった（表1）。最も個体数が多かった種はニホンノウサギの119頭で、次いでニホンザル98頭、タヌキ89頭、カモシカ66頭、キツネ52頭と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類11種、鳥類は6種であった。

撮影個体数が特に多かった調査地点としては、8：73個体、32：67個体、31：56個体などが挙げられる。種数について見ると、地点2の11種が最大で、次いで地点7・31の10種、32：8種という結果となった。



東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター
〒038-2761 青森県西津軽郡鵜ヶ沢野大字舞戸町字東阿部野70-82
TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932

問い合わせ
《原本（データ）の帰属について》

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

図1 令和2年度 冬期ニホンジカ分布調査 センサーカメラ設置箇所
 ○：ニホンジカ撮影箇所

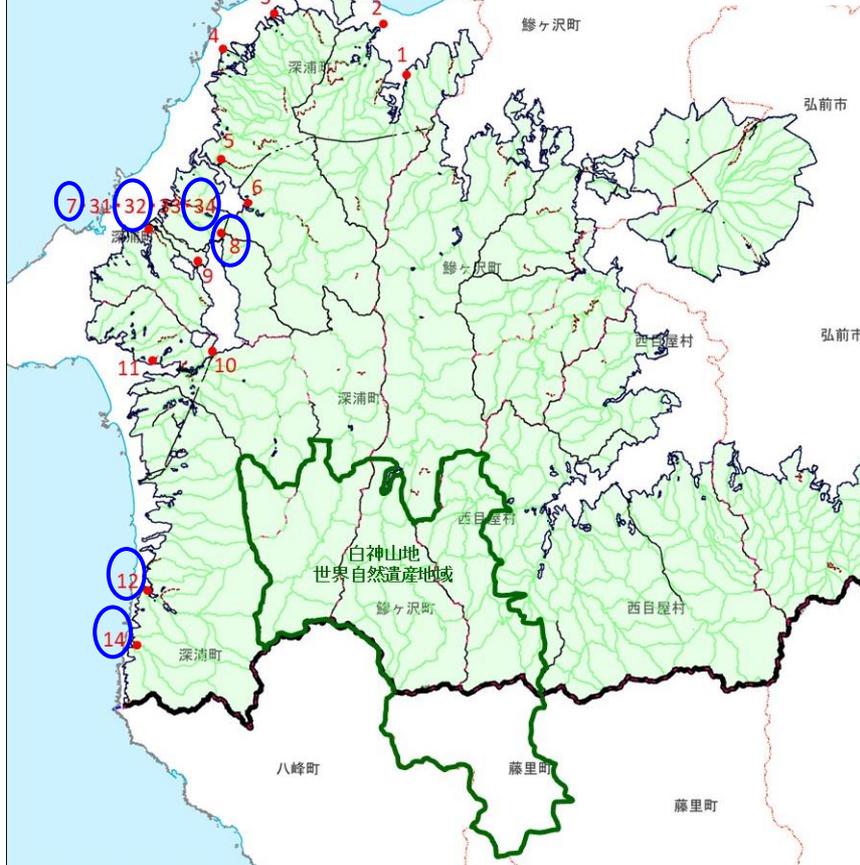


表1 センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数

種名/調査地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	31	32	33	34	合計
ニホンザル	11	4				11	20				1	5	10	32			4	98
キツネ	9	3			3	2	1	14	1			9	3	1	3		3	52
タヌキ	4	12	4	4	4	5	10	8				12	4	15	5	3	3	89
テン		6			2	1	2					1		6	1			19
アナグマ	2	2						1				1					1	7
ハクビシン	10	1					1	3				1	7			6		29
ニホンジカ							2	3				3	1		1		11	21
カモシカ		2	16		3	1	3	4	4	6		3	2	4	6	9	3	66
ニホンノウサギ	1	6	8		5	2	32	7	1				27	4	11	8	7	119
ニホンリス															1			1
イノシシ							1								1			2
不明哺乳類	8	3	2	1	3	5	6	1	1			4	5	6	7	2	3	57
哺乳類個体数合計	45	39	30	1	20	15	42	73	21	8	1	34	47	55	66	29	34	560
哺乳類種数合計	6	8	3	0	5	4	9	7	4	2	1	7	6	9	7	5	6	11
オオアカゲラ																1		1
トラツグミ			8															8
シジュウカラ						1	1							1				3
ヤマガラ				2														2
ホオジロ		3																3
ミヤマホオジロ		2																2
不明鳥類		4		3		1			1									9
全個体数合計	45	56	30	6	20	16	44	73	21	9	1	34	47	56	67	29	34	588
全種数合計	6	11	3	1	5	5	10	7	4	2	1	7	6	10	8	5	6	17



ハクビシン (調査地1 : 1月23日)



イノシシ (調査地31 : 3月21日)